

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成27年2月19日(2015.2.19)

【公開番号】特開2013-136430(P2013-136430A)

【公開日】平成25年7月11日(2013.7.11)

【年通号数】公開・登録公報2013-037

【出願番号】特願2011-287976(P2011-287976)

【国際特許分類】

B 6 5 H 37/04 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 37/04 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月22日(2014.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シートを処理し、かつ移動可能な処理手段と、

移動する前記処理手段を支持する支持台と、

前記処理手段に設けられて、前記処理手段の処理動作によって生じる処理物を収容して排出可能な第1の収容部と、

前記第1の収容部から排出される前記処理物を受け取る第2の収容部と、

前記第1の収容部が、前記処理物を前記第2の収容部に排出するための位置に位置する際に、前記処理手段が落ち込む凹部と、を備え、

前記支持台は、前記処理手段が前記凹部に落ち込んだ状態から脱出する方向に関して、下り傾斜している、

ことを特徴とするシート処理装置。

【請求項2】

前記第1の収容部は、下向きの処理物排出口が形成されて前記処理物を収容する収容箱と、前記処理物排出口を開閉可能な蓋とを有し、

前記蓋は、前記処理手段が前記凹部に移動したとき、固定部材に接触して、前記処理物排出口を開く、

ことを特徴とする請求項1に記載のシート処理装置。

【請求項3】

前記処理手段は、前記処理手段を支持して前記支持台を転動し、前記凹部に落ち込む口一ラを有している、

ことを特徴とする請求項1又は2に記載のシート処理装置。

【請求項4】

シートに画像を形成する画像形成部と、

シートを処理する請求項1乃至3のいずれか1項に記載のシート処理装置と、を備えた、

ことを特徴とする画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明のシート処理装置は、シートを処理し、かつ移動可能な処理手段と、移動する前記処理手段を支持する支持台と、前記処理手段に設けられて、前記処理手段の処理動作によって生じる処理物を収容して排出可能な第1の収容部と、前記第1の収容部から排出される前記処理物を受け取る第2の収容部と、前記第1の収容部が、前記処理物を前記第2の収容部に排出するための位置に位置する際に、前記処理手段が落ち込む凹部と、を備え、前記支持台は、前記処理手段が前記凹部に落ち込んだ状態から脱出する方向に関して、下り傾斜している、ことを特徴としている。